

リンパ系フィラリア症 その③

▶ 日本におけるリンパ系フィラリア症

リンパ系フィラリア症はかつては日本にも分布していました。

今日の日本ではヒト寄生性のフィラリア症は根絶され、もはやイヌ寄生性のフィラリア症ばかりが有名になっていますが、かつては全国的に広く分布し、第二次世界大戦後に至っても鹿児島県や南西諸島、沖縄などで蔓延していました。



平安時代



江戸時代



明治時代

▶ 日本におけるフィラリア症の根絶

第二次世界大戦後、国の発展に伴い、国民の健康対策としてフィラリア症対策が行われました。日本国内の医師、大学研究者、製薬会社が国産の治療薬の開発・研究に邁進すると同時に、日本政府はそれまでの研究成果を基礎としてフィラリア症予防対策要綱を策定しました。これに従い、大学、行政、蔓延地域の住民が一丸となって闘った結果、1970年代にフィラリア症は根絶されました。



宮古島のフィラリア防圧記念碑

宮古島にフィラリア防圧記念碑が残されています。碑には「科学と行政を信頼し、健康社会を開拓する自らの責任に目覚めて立ち上がった群島住民」とあります。